

「ボク、また、お散歩に行けるんだ！」

意気消沈していた脚の不自由な犬たちは歩けることで、尊厳を取り戻していった・・・。



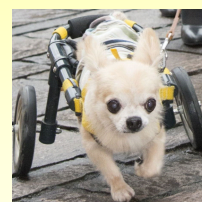
本書は、事故や高齢化で、脚が不自由になり、大好きな散歩がままならなくなってしまったペット犬たちのために、車いすを2500台以上も作り続けた編者と、車いすをつけて、もう一度ハッピーになった犬たちの素敵な物語である。

忠さんは最初、脚が動かなくなった愛犬のために車いすを作った。その作り方をホームページで紹介したところ、全国から注文が相次いだため、会社勤めをしながら年間約300台以上を製作。その後、早期退職して独立し、車いす作りに専念した。忠さんの飼い主と犬たちへの熱い思いは、テレビ番組「天才！志村どうぶつ園」で2回紹介され、大反響を呼んだ。

定価 1,680円(税込)

もう一度、ハッピーになった車いす犬たちの物語

忠裕之 監修 堀ノ内雅一 構成



本書に登場する10頭の車いす犬

- 保護センターで他の犬に噛まれ、下半身がマヒしてしまったチワワ
- 喜びのあまり、車いすのまま川に突進していったコーギー
- 失われかけた介助犬としての誇りを取り戻したラブラドル
- 自分の脚を齧って、リビングを血の海にしたミニチュアダックス
- 家族みんなに支えられた全盲の保護犬
- 日本人に救われたインドの“ストリートドッグ”
- 忘れていた走る感覚を10年ぶりに取り戻したミニチュアダックス
- 車いすに乗った瞬間から全速力で駆け出し、家族を感涙させたフレンチドッグ
- 散歩の途中で「カッコイイ！」との声援が飛ぶ熱海の人気犬
- 老犬ホームで車いすで歩けるようになった19歳のコーギー

—著者プロフィール—

忠裕之 (ちゆう・ひろゆき)

1954年、東京生まれ。ヘルニアで後ろ脚が不自由になった愛犬のために作った車いすを自らのホームページで紹介したところ、全国から注文が相次いだため、サラリーマン生活の傍ら、年間約300台以上を製作。

2012年、会社を早期退職して、車いす作りに専念。

ホームページ：adoworks (アドワークス)

<http://adoworks.com/>

ブログ：犬用車椅子 adoworks (アドワークス)

<http://ado2006.a-thera.jp/>

電話：090-4710-5690

お問い合わせ：(株)光文社「学芸」編集部 〒112-8011 東京都文京区音羽 1-16-6

TEL：03-5395-8172 FAX：03-5395-8179 担当 樋谷 昭

